

---

# 伝えたいこと

市川 なゆ汰

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

伝えたいこと

### 【Zコード】

N7927Z

### 【作者名】

市川 なゆ汰

### 【あらすじ】

秋軌 伊澄は新春から兄の柵木が教師をしている黒川学園に双子の兄と共に通うことになる。

そんな彼女の学園生活のなかで起こる小さな小さなラブストーリー

## プロローグ&第一部・キャラクター設定（前書き）

この物語に登場するキャラクター・団体などは空想です。実際に存在しません。

## プロローグ&amp;キャラクター設定

伝えたいことは沢山あって

ひとつも言葉にできなくて

伝えたい思いは沢山あって

ひとつも力タチにできなくて

でも、そんなんじゃダメだってわかってる

わかつてるはずなのに

伝えられるときには伝えなくちゃダメなんだよね…

### キャラクター設定

秋軌 伊澄

新高校生になつたばかりの15歳。しかし、15歳とは思えぬほど  
の知識と冷静さを兼ね備えている。

家族は兄が2人、弟が3人と、男づくしの家庭で生まれ、性格は男  
の子にちかく、髪もバッサリと切つたショートヘアで、身長175  
cmとおおきい。親は一度離婚し、13歳のとき再婚した。母親と  
一番上の兄とは血縁関係がない。

秋軌 あき  
柵木 さつき

再婚して伊澄の兄となつた。年は23歳で高校の教師をしている。  
身長186cmと大型で、その割にほっそりとした体型をしている。  
髪型は栗色のゆるふわで、メガネを掛けている。

秋軌 あき  
海渡 かいと

伊澄の双子の兄として生まれる。頭はそこそこだが、伊澄と同じ学校に通つている。

身長169cmと、伊澄よりも低く、可愛いと呼ばれることが多い。自身はコンプレックスらしい。

髪型は藍色で、皿にかかるほど前の前髪。

柚木 ゆずき  
寿 じゅうき

伊澄と同じ学校に通つともだち。

ツインテールのセットに毎日30分以上かけるらしい。

咲良 さくら  
優史 ゆうし

寿や伊澄の同級生。  
入試では主席入学。  
話しかけやすいフレンドリーな性格。

## プロローグ&序章・キャラクター設定（後書き）

\*キャラクターが増えていくと思しますのでよろしくお願ひいたします。

## 一話 伊澄田線

父親は頭の良いところに行きなすこと。」<sup>1</sup>。

母親はあなたの好きなところにこきなさること。」<sup>2</sup>。

矛盾してる。

「あーちゃんつ！ねえねえ！」

キヤピキヤピとギャルギャルしい声を上げて私のもとに駆けてくるのは私の小学校からの友達、寿。

寿は昔からオシャレが好きでいつもフコフコのワンピースやパンツのスカートやらを着て来ていた。

今は高校生とこりのもあり、化粧をうつすらとしている。

あんた、キヤルっぽいんだから、もつとそういう人とつるめばいいじゃない。

去年の冬、私がそいつたのにもかかわらず、いつも私のところ来る。

「今日やつ、席替えでしょ……つわあアタシ咲良くんの隣がいいなあ

あ

わいわいと皿を光らせながらいつまく。

咲良はたしかにもてるナビ、私は咲良はあんまり好きじやないかな。

と呟つも、さうな口に出せば…

「あいつやばつ今口現園宿題あつたつけ?」

「あつたよ」

ぱいぱいとヘートを捲つながりたいつと私はこい。

「レポートだよね?」

「うそ

下唇を噛みながらやがこと連呼する寿は、また宿題をやつてこなかつたのだらう。

またたく、いつもじおつ困つてゐね。

「あーけやん…」

嫌な予感がした。

「[ヨセサヒツ]…」

…やつぱつ

「しょうがないな。」

現国へのノートを手渡す。

「あつ、俺も見してくれーー！」

飛び込んできたのは海渡で。

「はあ～やつてこなかったのー？あははつわたしもーつつ

あははと宿題をやりながら話す一人を放置し、私は小説を開いた。

「おせよ！」

後ろから少し高めの透き通ったいえが聞こえる。

「わわわおはよーーーーー！」

ああ、あいつか。

咲良くんだね、わかります。

「よお咲良ー！」

はい大正解。

「おはよ、秋軌さん」

「あ…？ ああ、はよ」

適当に返事を返す。

かたつ

「ほーら、みんな、席つけよー」

「は、はあつー?」

なんで、なん、え？なんで……樋木が……？

あれ?、伊澄樺木が教師?てしらんか?たの?」

「しらなか」た。

なんて  
私  
桜木の「せ」に「ハ」苦手なのに……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7927z/>

---

伝えたいこと

2011年12月25日15時46分発行